

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	観光商工課担当課長	廣川 正
市民-16	実施事業	観光振興支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 観光商工課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	地域が一体となった観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体など様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興をするため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイクなどに負担金を交付し、本市の観光振興を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	9,405	12,069	当初予算(千円)	12,069		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	9,405	12,069	一般財源	12,069		
事業運営	人員配置数	0.3	0.3	人員配置数	0.3		
	人件費(千円)	2,424	2,474	人件費(千円)	2,622		
	総事業費(千円)	11,829	14,543	総事業費(千円)	14,691		
	市民1人当りの経費(円)	67	82	市民1人当りの経費(円)	83		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉花火大会実行委員会（観光協会、商工会議所等）

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉の観光を支える行事であり、また、それらの安全確保は必要な経費であることから、現状の事業を維持するため、予算規模も同程度を要する。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き、観光行事の支援と観光客の安全の確保を行っていく必要がある。
-------------------	------------------------------------

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉まつり、鎌倉花火大会、俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなど各行事が適正かつ効果的に運用されるよう、実行委員会を通して協働して取り組む。
課題解決のために行った平成28年度の取組	各行事の実行委員会を通じ、行事の進行管理を行った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	鎌倉市観光協会に対する運営費補助金が予算措置されない中、協会主催の行事が実施できない。

- 解決
- 一部解決
- 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	
他市実績	22,926	18,335	3,024	6,922	4,538	8,723	889	5,918	48,592	
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、高い満足感が得られるよう行事を支援するとともに、安全面の確保についても万全の体制を整えていく必要がある。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%				
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%							
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。										